



ファミケア

「通信」

vol. 22

2026.6.1 発行



きれいな桜とともに県南愛児園の新年度がスタート！



A Iと福祉の融合

理事長 石山 清和

緑濃く清々しい季節を迎えました。

日本社会は急速な少子高齢化の進展によりあらゆる分野で人材不足が深刻化しています。介護や障がい福祉分野でも人手不足や業務負担の増加が深刻な課題となっています。そんな中、生成AIをはじめとする最新テクノロジーが、福祉の分野でも大きな変革をもたらし始めています。

そもそもAIとは、人工的に作られた知能を持つコンピュータのことで「人工知能」と称されています。介護業界のみならず働き手の不足している業界では、業務の効率化を図るためにも、様々な分野において人工知能の活躍が期待され、実際に導入されているところが増えています。

実際、福祉分野においては、業務の効率化と職員の負担軽減の強力な助手となるようです。福祉の現場で働く皆さんが、AIという新しい技術を味方につけることで、より質の高いサービスを提供し、同時に働きやすい環境を実現できる未来が、すぐそこまで来ているようです。まさにAIと福祉の融合です。

当法人でも一昨年、すこやか大雄に「見守り介護ロボット」を導入しました。AI機能は付いていませんが、利用者の睡眠状況や心拍数、起き上がりなどの情報を職員に通知するもので、業務支援に大きな役割を果たしています。AIは情報の取得や解析などに強いというメリットがありますが、介護の現場などは人と人との関りが重視される業種です。ご利用者様やご家族様の理解を得て、適切に導入されることが望ましいと考えております。

さて、この四月から当法人の多機能型福祉サービスの新たな拠点「ひだまりてらす」がオープンしました。詳細については、二ページからの特集をご覧くださいと思います。関係者の皆様のご期待に添えるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

各事業所のご紹介

ひだまりてらす



令和8年4月1日より、ひだまりてらすの運営がスタートしました。

ひだまりてらすでは、地域で生活する障がいのある方やそのご家族、ひとり親家庭等のそれぞれの願いが実現できることを目指して支援をしていきます。

当法人ではこれまで、障害福祉サービス事業、児童発達支援事業、母子生活支援施設を、各々の拠点で運営してきましたが、この度これまで培ってきた経験やノウハウをひだまりてらすに集結させ地域福祉に貢献していきます。

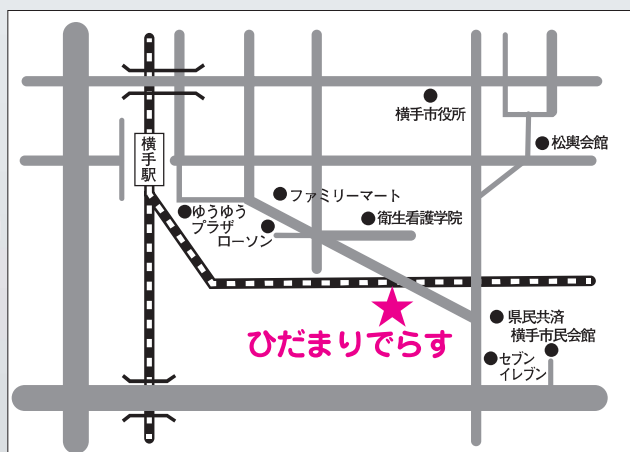
～心をいやすことができる

「ひだまり」となり、

そしてこれからの歩みを

「てらす」ことができる

拠点としていきます～



児童発達支援センター モモの家

●児童発達支援●

県南にお住まいで、発達に支援や配慮が必要な、乳幼児から小学校入学前までのお子さんが対象です。

子どもたち一人ひとりの「個別支援計画」をもとにそれぞれの発達課題に応じた指導内容を専門的な立場から、集団・個別にてサポートさせていただきます。幼児期に必要な支援を保護者と共に考えきめ細かい対応とより充実したアプローチを実践します。子どもたちや保護者を取り巻く諸問題に、関係機関・地域と連携を取りながら、発達に関する支援機関として地域とネットワークづくりを支援していきます。

●保育所等訪問支援●

発達に支援や配慮が必要な子どもたちが集団生活をする際、さまざまな困りごとが生じることがあります。保育所等訪問支援では、専門知識を持った支援員が保育所等、学校・放課後児童クラブ（学童）などの「集団生活の場」に訪問し、お子さんの様子を観察し、どのようなことに困っているのか、その原因は何かを分析します。そして、どうすれば困らなくて済むようになるかを保護者の方や保育所等の先生と共に考え、子どもたちが楽しく快適に過ごせるように支援していきます。



▲個別指導の様子です「何をやるのかな？」



▲音楽あそびで、三種類の太鼓を叩きました



ひまわり社

●障害福祉サービス事業所ひまわり社（生活介護・就労継続支援 B 型）●

・生活介護…食事・排せつ等の援助、生産活動および創作活動の機会の提供、身体機能および生活能力向上のための必要な支援を行います。

・就労継続支援 B 型…外部企業からの請負業務（ポリパックの結束や梱包、ゆうメール配達、情報誌封入作業、花壇管理等）を中心とした生産活動の機会の提供、就労に向けた支援や就労に必要な知識及び能力向上のための訓練等を行います。

・地域生活支援事業…横手市より業務委託を受けております。ご家族の都合などにより日中のみ一時的な支援が必要な方々に対応し見守りや活動の場を提供します。

●相談支援事業所ひまわり社（特定相談・障害児相談）●

障害福祉サービスを利用する前の申請やサービス等利用計画の作成、サービス利用開始後のサービス提供事業所との連絡調整、また一定期間ごとの計画の見直し（モニタリング）等を行います。



▲リニューアル！心機一転



▲今年の桜は早いなあ



▲広くて全体が見渡せる作業室

横手市ひとり親家庭等生活支援事業所 さんのあ

横手市内にお住いのひとり親のママやパパを対象に、「相談支援事業」「家計管理・生活支援講習会」「情報交換事業」の3つの柱でサポートする事業を始めました。育児のことや親子関係のこと、お金や仕事などを含む生活のこと、自分自身の心と体の健康のことなど安心して困りごとや悩み事を相談できるところです。一緒に考え親子で新しい一歩を踏み出せる場所になるよう努めてまいりたいと思います。

『さんのあ』の愛称の由来は、「母子生活支援施設横手市サンハイム」を引継ぎ、更に「太陽（SUN）」のように明るいイメージの“さん”。それにプラスして、“ノアの方舟”のように荒波から守られ親子が大きな安心感につながるよという思いから“のあ”で『さんのあ』と名付けました。

「お母さん、お父さん、お子さん、地域みんなで一緒にゆらゆら お舟にのって 進んでいきましょう」



▲相談室でお話しもできますよ！

事業所 だより

ご家族とのつながりを大切に

特別養護老人ホーム すこやか館合

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も落ち着き、ご家族との面会制限が解除され、再び直接顔を合わせて面会できるようになりました。ご家族からは「元氣な顔を見ることができて安心した」という声が聞かれ、画面や文章では伝えきれない、ご利用者・ご家族・職員と直接言葉を交わす事で、心とこころの交流を図ることができました。また例年、利用者様への感謝とご長寿を祝うため「長寿を祝う会」を催しておりますが、昨年からご家族もお招きし、ご利用者様のこれまでの人生の歩みに思いを馳せながらご家族とご利用者様、職員と和やかな雰囲気の中で、節目の年齢をお迎えになった利用者様へささやかながら祝いのお品と感謝の言葉を送らせていただきました。

昨春秋にはご家族と地域の方々をお招きし「秋祭り」を開催し、晴天の下、焼きそばや焼鳥、ババヘアアイス、お酒も少々。ご利用者様も、普段なかなか口にできない焼鳥や焼きそばをご家族と共に頬張る姿に、普段見せない笑顔でご家族と共に過ごすひときは掛け替えのな



▲秋祭り



▲長寿を祝う会

折り紙制作活動

特別養護老人ホーム すこやか横手

すこやか横手では、ご入居者の興味や関心に合わせて、様々な創作活動を実施しております。今回は折り紙で創る壁掛け飾りや、正月飾り制作についてご紹介します。

折り紙制作当初の目的は、指先の機能回復を目指して個別ケアの一環として一部の入居者の活動として開始しました。

活動が続け、その中で出来上がった作品がユニットホールや居室のベッド周囲に徐々に飾られるようになると「ここにも飾りたい」、「私にも作ってほしい」等の他入居者や職員からの声も多く聞かれるようになり、制作に励まれているご入居者自身から「活動だったはずが、今では欠かす事の出来ない生きがいの一つになっている」と、作業の傍らに心境の変化を語ってくれるよう



▲花束の贈り物



▲折り紙制作風景

今では個別の活動に留まらず、「一緒に制作していきたい」という声も多く、入居者同士お互いに協力し、作業を分担しながら制作活動を楽しまれています。このような活動を通して、生きがいや入居者同士の繋がりを持つことで、より充実した生活を送れる一助になるよう、これからはより良い活動を考え、共に取り組んでいきたいです。

健康と安全を願って・・・

シヨートステイ すこやか大雄

桜が満開になり、愛らしい桃色広がる季節が、すこやか大雄にも訪れてきました。少し前までは、雪の結晶が白く輝く田園の風景が広がっていました。季節の移ろいが早いことを実感している今日この頃です。

外出の機会が少ない入居者様や利用者様に、少しでも身近で、季節の変化を感じて頂けるように、健康や安全を願う横手の伝統行事の梵天を、昨シーズンに初めて行いました。担当職員を中心に、梵天を全て手作りで制作しました。途中、インフルエンザの流行で、作業が中断することがありましたが、当日は、法被姿の職員が梵天を担ぎ、「ジョヤサー、ジョヤサー」の掛け声で、施設内を歩きました。皆さまより「あやー。まんず、



▲職員手作りの梵天



▲梵天を担ぐ、法被姿の職員有志

今後、楽しく安心して過ごして頂けるように、行事等の活動を継続したいと思っております。皆さまからの「こんな事やってみたい」「こんなの食べた」「この曲も聴きたい」というリクエストもお待ちしております。お気軽にお声がけ頂ければと思います。

毎日を幸せに

特別養護老人ホーム すこやか森の家

例年になく暖かい日が続く、すこやか森の家に隣接するちびっこ広場の桜も満開を迎えました。コロナ感染やインフルエンザ感染の影響も大きく、外出の機会もめっきり減ってしまいました。今年、今年はデイホールを開放し観桜会を開催しました。お茶やお菓子を食べ会話をしながら春を満喫していただきました。

皆様が笑顔で安心して毎日を過ごして頂けるよう、災害や感染症などの緊急事態が起きても業務を止めず、早期復旧に向けて迅速な対応ができるよう災害対策物品の準備や食料品の備蓄、避難訓練にも力を入れております。災害に対する訓練では、火災避難訓練に加え、頭無川氾濫を想定した水害訓練も行っております。昨年準備した簡易タンクを使った垂直避難の訓練では、参加職員が本番さながらの緊張感をもって取り組みました。

また、すこやか森の家では、ご家族との交流がご入居者様への最高のプレゼントと考え、予約制ではありますが居室までお通ししての面会を行っております。居室に家族が入られた際



▲私たちに任せなさい！



▲花も団子も一緒に？

のご入居者様の笑顔は何にも代えがたいものです。誰かと一緒に笑っているときが一番幸せなら、人とのつながりを今後も大事にしていきたいと思えます。

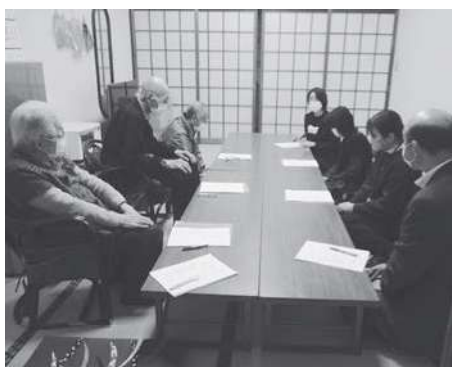
地域の皆様と共に

横手市デイサービスセンター いきいきの郷

当事業所では、サービスの質を向上させ、地域に開かれた運営を行うため、定期的に「運営推進会議」を開催しています。先日の会議では、下半期の活動報告とともに、大変貴重なご意見を頂きました。

【安心を支える取り組みと現状】

運営状況報告では、要介護度の高いご利用者様が增加する中でも、感染対策を徹底し、一日も休止することなく営業を継続している事をお伝えしました。また、インシデントやヒヤリハット事例についても隠さず共有し、再発防止に向けた真摯な取り組みを説明いたしました。



▲運営推進会議の様子

【写真で振り返る「笑顔の活動」】

会議では、職員が創意工夫を凝らして日々行っている行事や活動の際の写真の皆様にご覧いただきました。地域住民代表の方からは、「職員の工夫が感じられ、利用者様が楽しく過ごしている様子が伝わってくる」と温かい評価をいただきました。また、「調理活動の買い物と一緒に行くなど、外出の機会を増やしてはどうか」といった、より良いサービスに繋がる前向きなご提案もいただいています。

【響き合う「感謝」の声】

もつとも励みになったのは、皆様から寄せられたお言葉です。ご家族からは「転倒の際など迅速な対応に感謝している」とのお声を、そしてご利用者様からは「今が一番幸せと感じている」という、この上なく嬉しいお言葉をいただきました。

私たちはこれらの声を宝物とし、令和8年度の新体制に向けても、一人ひとりに寄り添った地域密着型サービスをさらに充実させてまいります。

私たちの家

児童養護施設

県南愛児園ドリームハウス

完全分園化になってから2回目の春を迎え、それぞれの分園から4名の卒園生が社会へはばたいていきました。「ちゃんとはんは食べているかな?」「仕事は慣れたかな?」「職場の人とうまくやっているかな?」と心配は尽きませんが、子どもたちの力を信じ遠くから見守っているところです。

この1年を振り返って思うことは、子どもたちだけでなく職員も初めてのことで戸惑うことが多かったのですが、『生活』や『思ひ出』と一緒に積み上げてきたという実感があります。それは良い事だけでなく大変だった事もありますが、みんな乗り越えたという充実感にもなっています。「今年は○○しようね」「次は○○やろうね」とこれからの生活がつながって



▲イカをさばく

いく会話も多く聞かれます。また「自分たちの家」という意識も強くなってきました。だからこそ、安心して生活が送れるよう話し合いを繰り返し、子どもたちの毎日を大切にしていきたいと感じています。

昨年は釣りが得意な職員が海で釣ったイカを持って来てくれ、子どもがさばいて食べるといふ初めての貴重な体験をしました。他にもボランティアさんや里親さんとの関りも子どもたちにとって楽しみの一つになっています。これから子どもたちがやってみたい、やりたいというモチベーションとなる機会を作り、生き生きと目を輝かせる姿を沢山作っていききたいと思っています。



▲海レク

新卒職員紹介

①アピールポイント ②リフレッシュ方法
③好きな言葉、好きな人物 ④将来の夢は？



高田 遥
(県南愛児園ドリームハウス)

- ①たくさん笑うところ
- ②ゲームして寝ること
- ③ムロツヨシ
- ④自分の笑顔で周りを明るくすること



後藤 未佳
(すこやか森の家)

- ①いつでも笑顔なところ
- ②ゲームしたり、アニメを見たり、寝たりしています
- ③＝LOVEの佐々木舞香ちゃんが好きです
- ④自分に自信を持って前向きに生きること



佐々木 桃佳
(県南愛児園ドリームハウス)

- ①責任感があるところ
- ②好きな音楽を聴くこと、ショッピングすること、アニメを見ること
- ③乃木坂 46
＝LOVE (イコラブ)
- ④幸せになること



茂木 琴音
(県南愛児園ドリームハウス)

- ①明るく、誰とでも仲良くなれます！ピアノとギターが得意です
- ②カラオケに行ったり、HIPHOPを聴いたりします
- ③KEIJU
- ④気軽に話せるような存在であり、頼られる保育士になることです



善意ありがとうございます

令和七年四月一日～令和八年三月三十一日まで

◆法人本部

株式会社テラセキ様 (横手市)

◆すこやか横手

照井 均様 (横手市)

◆すこやか大雄

田丸 祥子様 (大仙市)

伊藤 常雄様 (横手市)

JA秋田ふるさとけやきの会様 (横手市)

JA秋田ふるさと女性部大雄支部様 (横手市)

阿気婦人会様 (横手市)

◆ひまわり社

安田原下町内会の皆様 (横手市)

横山町内会の皆様 (横手市)

有限会社秋田かまくら (横手市)

ミート様 (横手市)

有限会社 (横手市)

藤倉商店様 (横手市)

株式会社 (横手市)

ヴァルモード様 (横手市)

株式会社 (横手市)

ツルタック様 (横手市)

古美術くとも様 (横手市)

末広タクシース様 (横手市)

株式会社 (横手市)

◆県南愛児園

※法人ホームページに記載しております。

◆すこやか森の家

高橋 順一様 (横手市)

◆いきいきの郷

川西 昇様 (愛知県一宮市)

◆すこやか館合

佐野 信幸様 (横手市)

小沼 亮様 (横手市)

宮野 義雄様 (横手市)

公益社団法人横手シルバー人材センター様 (横手市)

人財センター様 (横手市)

特別養護老人ホーム (横手市)

やすらぎの苑様 (横手市)

渡敬文員館様 (横手市)

清川の里様 (横手市)

介護老人保健施設 (横手市)

編集後記

今年度も広報誌をご覧いただき、ありがとうございます。日々、地域の皆さまや関係機関の方々に支えられながら、子どもたちや利用者の方々の笑顔と成長に寄り添うことができております。社会や地域のつながりが変化している中、一人ひとりが安心して暮らせる場をこれからも築いてまいります。本誌を通して、私たちの取り組みや現場の思いが少しでも伝われば幸いです。今後とも温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

